



サッシバカ、明ちゃんの
アルミ樹脂カバー工法
現調から作図まで、作業手順で解説

(話し手) (有)アドオフィス 代表 明官 徹 みょうかんとおる



築47年長屋建RC住宅

作業手順を写真解説



①既存サッシの上下左右の干渉部をカット。



②仮はめ込み



③ビス止め用下穴開け



④レーザーで水平、垂直を確認



⑤改装用水切りを現場に合わせて加工



⑥額縁加工



⑦内部接合金物金物ビス止め



⑧外部よりビス止め



⑨木額縁ビス止め



⑩外部変成シリコン打設



⑪内部三角シール



⑫施工完了

今回は究極のカバー工法を徹底解説したいと思います。この工法は4年前にアドオフィスが生み出した工法で現在はPART2となりウレタンを使った接合から金物によるビス止めに変更されています。今回は10月に施工した桶川の水野邸の施工を通して写真順に解説をしていこうと思います。

この案件は投資目的に購入された長屋式のRC住宅です。窓の開閉形式や枠の見込みによって金物も変更します。今回は70見込みと60見込みのサッシがあり金物を変更しました。

また既存の内部納まりで、木額縁があったりなかったり、新設する木額縁のおさまりも検討します。

この連載ではノウハウの一部をオープン化していますが、実際現場で起こる各種問題に対応するには、紙面には

作業手順で解説

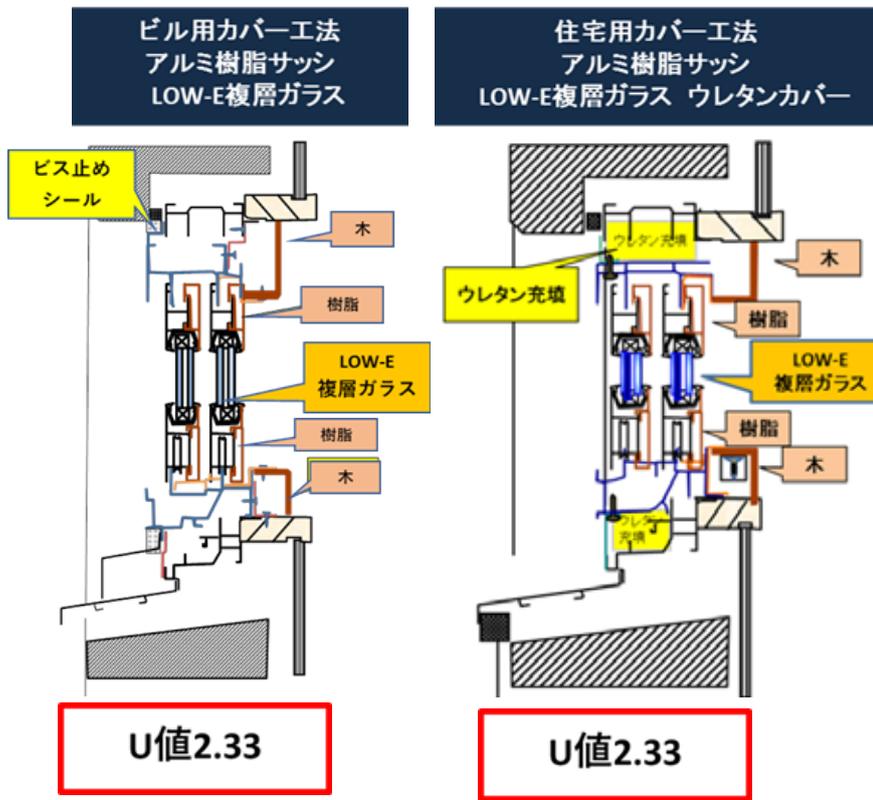
書けない色々な要素がありません。つまりこのままマネしても即戦力としてはモノにならないということなのです。

アドオフィスでは施工協力者を募集していますので、ぜひ我こそはという方は、手を挙げていただきたいと思います。一緒にこの工法の普及促進を担っていただき、協業して事業を行って

きましょう。

二つの究極のカバー工法

アドオフィスがオリジナル工法として提供している「究極のカバー工法」は、現在PART1から、PART2に移行しています。最初の「究極のカバー工法」(PART1)は、住宅用のアルミ樹脂サッシに二液性の発砲ウレタ



PART1は品ぞろえが豊富
ウレタン施工 納期は2週間

ンを使用して枠回りをウレタン接合する工法でした(エピソードNeo納期2週間)。ところが、この工法は、冬場では施工時に発砲不良を起こすことがあり、どうしてもこの日に施工を行わなければならないという場合、施工上のデメリットが出てくるのが分かりました。

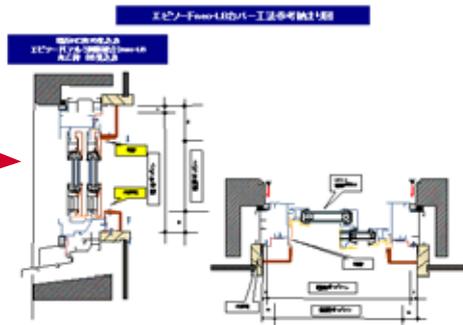
るので代替として目を付けたのは、発売されたばかりのアルミ樹脂のACLDビル用標準枠でした(エピソードNeo・LBA LC枠納期4週間)。この枠を使えば、RCのビルのサッシ枠はかなりの範囲でカバーできることから、ウレタンを使わないPART2を開発しました。とはいってもPART2にも課題があります。PART2の課題は、品ぞろえが少ないことです。特に窓を二段に重ねるための接合無目の設定がないのは困りま



PART2は品ぞろえが少ない
ウレタン施工が不要
納期は4週間



アルミ樹脂サッシ-2000		アルミ樹脂サッシ-2000		スチール樹脂サッシ	
製品図	実寸寸法	製品図	実寸寸法	製品図	実寸寸法
	3		3		50
スチール樹脂サッシ		スチール樹脂サッシ		スチール樹脂サッシ	
	100		100		100



- ①現場で既存サッシを実測 ②エクセルで既存サッシの枠を作図 ③新設サッシを同じように作図

現場で既存サッシを実測

雑で日々の仕事で使っていない自分には習得が難しかったのです。いつしかエクセルで作図することを覚え、磨きをかけました。今では多くの断面等の部品を作り短時間で施工図を作れるようになり

エクセルで既存サッシの枠を作図

私は作図をエクセルで行います。これはサラリーマン時代にCADに何度もチャレンジして失敗した経験があるからです。CADのコマンド(命令)は複雑で日々の仕事で使っていない自分には習得が難しかったのです。いつしかエクセルで作図することを覚え、磨きをかけました。今では多くの断面等の部品を作り短時間で施工図を作れるようになり

作図はエクセルで

新設サッシを同じように作図

ドオフィスでは、PART1とPART2を併用選択する展開をしています。



- ④納まりを見て金物の検討を行う

納まりを見て金物の検討を行う

私には過去の蓄えた事例を使っています。

改修物件でいろいろな断面の既存サッシをトレースして納まりをエクセルで作図してカバー工法のサッシを検討します。

これも私が編み出した方法です。

今ではどんな既存サッシの断面もトレースして新設サッシとの接合や部品を断面上に再現する方法を編み出しました。

これが武器になっています。

今回皆さんにその一端を段階で説明したいと思います。

なぜエクセル作図が必要かというのですが、マンションや非木造戸建ての1住戸でも、作図をして施工図を作ること、各種チェックができることです。もし現場で納まらなければ、施工図を描いていれば、実測が悪いのか、だれが悪いのかがわかります。

なんとなく間違えることがなくなります。是非お勧めします。

通常マンション1住戸の施工図を図面屋さん依頼して、また訂正して、それだけで2週間かかってしまいます。

私は過去の蓄えた事例を使っています。

究極のカバー工法 普及に向けた課題

私は社会人になって2年目からサッシの施工図を描くようになって、三年目には二級建築士を取得しました。

エクセル作図ができるのは、私が一級建築士として30年の現場経験があることも由来しているという事です。

「お前のビジネスモデルは標準化できない」とよく言われました。

打ち合わせ・実測・見積・作図・発注・施工・施工管理すべて一貫貫でできる人間など、この業界には、私以外にはいないのです。

「お前のモデルは実践でき

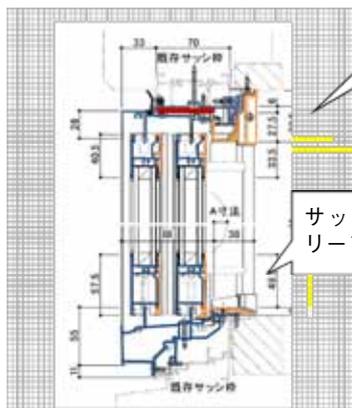
究極のカバー工法 普及に向けた課題

1時間で施工図を起こせて、常に訂正できます。

これがマンション戸建てのカバー工法では必要なのです。

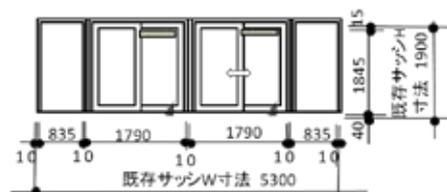
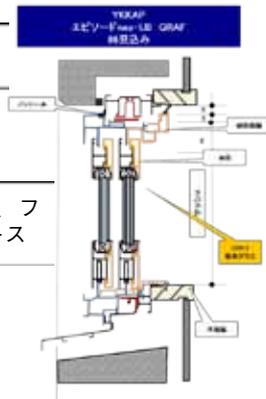
ご理解いただけましたでしょうか(巻末に解説動画①④を掲載)。是非習得してください。

エクセル作図の手順



5mm想定方眼

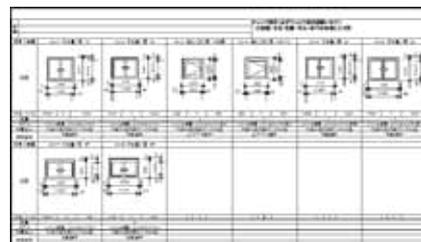
サッシ枠を張りつけ、フリーフォームでトレース



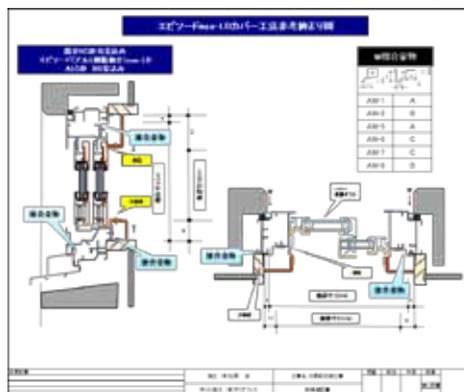
③姿図を同様にして作る

①エクセル上で列の幅と高さを同じピクセルで統一して5mm想定の方眼を作る。そこにサッシ断面を投影して寸法を合わせる、上からフリーフォーム図形で断面をトレースする

②躯体や額縁等を各種図形で作図、断面図を作っていく。寸法図や特記を作る。



④建具表を作る



⑤納まり図完成



⑥建具配置図作成

1時間で
施工図
完成!

「ない」といわれるゆえんです。これだけは難しいです。

このノウハウをどうやって次の時代に継承するか、いろいろ悩んでいます。

そのためには住宅ジャーナルを通して危機感をもってアピールしているのです。

同士のいつでも募集しています。われこそはと思う方は、ぜひご連絡願います。

【問合せ先】

究極のカバー工法研究会

創業 28 年

(有)アドオフィス一級建築士事務所

代表取締役社長 明官 徹

携帯：090-5821-8096

Mail：adooffice@mbe.nifty.com

HP：http://adooffice.net

ブログ：http://myoukan.blog.fc2.com/

YouTube; Google 検索解説

下記よりご確認ください

エクセル作図①

<https://youtu.be/SFRtKAS5sao>



エクセル作図②

<https://youtu.be/yhCWe6HRAjo>



エクセル作図③

<https://youtu.be/EVuJwu82qJw>



エクセル作図④

<https://youtu.be/0YwVVGvJYQw>



◆施工協力店大募集中!

ATAビルドパートナーに参画

工務店が語る

ATAを 選ぶ理由



(株)ヤマシタ工務店
常務執行役員 設計積算グループ
島崎 仁 (一級建築士)

ATAビルドパートナーとは…中大規模木造建築の受注力・施工力強化や新規参入に取り組む事業者向けのATAハイブリッド構法の提携システム。事業所近隣の案件を優先的に紹介。(株)ATAが積算を行い、受注折衝までバックアップ。充実した営業ツールとバックアップ体制が特色で、実行予算をしっかりと組むことができる。

住宅用の一般規格材を用いてスパン（柱間距離）34mを実現するATAハイブリッドトラス構法。経済性を兼ね備えながら木造建築の可能性を追求する構法として3年間で100棟超の中大規模木造建築を受注。今年、全国の工務店・建設会社から高い評価を受けて、ATAビルドパートナー契約を取り結ぶ事例が増加している。今年2月にビルドパートナー契約を取り結んだ(株)ヤマシタ工務店（岐阜県）の島崎常務にインタビューを行った。

積雪地で大スパン 木造建築を実現

—ATAビルドパートナー契約のきっかけについて教えてください。

島崎 今回の工事（長良川木材事業協同組合倉庫）で御一緒させていただき、ATAハイブリッド構法の基礎の経済性や、積雪地においても木造大スパン建築が可能であるといった特徴に魅力を感じ、ビルドパートナー契約を締結しました。

—御社は岐阜県北部のゼネコンとして知られていますね

島崎 弊社は、総合建設業として、木造住宅から一般建築まで幅広く設計及び施工を手掛けています。

特に木造建築については、金物工法による自社プレカット工場を持ち、創業以来長年培ったノウハウを活用した高品質な商品を提供しています。